

平成 22 年 5 月 17 日

フリンダースシャドウィング・プログラム研修報告

訪問先：フリンダース大学図書館

出張者：

西本篤夫

nishim@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 図書学術情報普及グループ 主査（地域交流主担当）

期間：2010 年 2 月 8 日～19 日

目的：

現地スタッフからの説明を受け、Shadowing を通じて、フリンダース大学図書館におけるサービス活動の概要を理解し、広島大学図書館の活動と比較し、活かせる内容の精査を試みる。

特に自分が担当し、興味がある以下について理解に努める。

- a. フリンダース大学図書館の展示業務と広報活動
- b. アデレード大学図書館と State Library の「図書館友の会」

研修内容：

I. 1 プログラム

図書館活動のトータルが把握できるよう、以下のように綿密にプログラムが組み立てられていた。

（添付ファイル参照）

- a. 各部署とそのサービス活動の説明を受ける。
- b. フリンダース大学図書館の Special Collections を見学し、展示業務や展示物の説明を受ける。
- c. フリンダース大学図書館の Fridays Library を見学し、展示会の運営方法や展示物の説明を受ける。
- d. アデレード市内の公共図書館、ギャラリー、博物館を見学し、展示の説明を受ける。
- e. フリンダース大学の各図書館の見学
- f. フリンダース大学のアデレード市内の広報拠点である Flinders City premises を見学し、広報についての説明を受ける。
- g. フリンダース大学図書館が公共図書館で行った地域交流のためのプレゼンテーションに参加し、図書館の宣伝について説明を受ける。
- h. アデレード大学と State Library の「図書館友の会」を見学し、寄附金によって運営しているサービスについて説明を受ける。
- i. フリンダース大学図書館員へのプレゼンテーション
テーマ「広島大学図書館の地域連携」

I. 2 所見

- a. フリンダース大学図書館の Special Collections
展示物の大部分がとても価値のある Act Collections である。日本の大学図書館のような図書資料の展示ではない。
- b. フリンダース大学図書館の Fridays Library
展示会場で展示会と同時に講演会やコンサートが行われる。講演会は有名人がボランティアとして行う。地域の人や学生は展示会場で飲食しながら講演などを聴く。日本の大学図書館に比べてコンセプトが違うので、とても刺激を受けた。

c. アデレード市内の公共図書館の展示会

オーストラリア政府は、展示会を重要なステータスと考えている。州立図書館は多額の展示予算を持っており、展示物、設備、スタッフ等に多くのお金を費やしている。

d. フлиндース大学図書館の利用者サービスが広島大学図書館の利用者サービスと違う点

以下のような違いがあり、広島大学図書館に役に立つ画期的なサービスである。

- 1) 閲覧スペースの大部分が、利用者が話しをすることができる **talking** スペースである。
- 2) 図書館の入口に飲み物、食べ物の自動販売機が設置されている。利用者は、図書館内のほとんどの場所で、飲食しながらグループで話しをすることができる。
- 3) 図書館は、一般の人が本を借りるための利用証を年間 110 ドルで発行している。

e. フлиндース大学の広報活動

フレンドリス大学は大学外での広報活動に多くのお金を費やし力を入れている。それらは、アデレード市内の **Flinders City Gallery** での展示会、**Flinders City premises** での広報活動、公共図書館での地域交流のためのプレゼンテーションなどである。

f. アデレード大学、State Library の「図書館友の会」が広島大学図書館の「図書館友の会」と違う点

以下のような違いがあり、広島大学のフレンドリー利用を発展させることができる運営方法である。

- 1) アデレード大学と **State Library** は、寄附金の半分以上を「図書館友の会」のイベントで販売する本の出版費用として使っている。本の販売による利益が「図書館友の会」の一番大きな収入である。
- 2) 寄附をした人の特典は、「フレンズルーム」の入口のような図書館内の目立つ場所に、彼らの名前や写真が掲示されることである。

g. 「広島大学図書館の地域連携」のプレゼンテーション

私のプレゼンテーションについてフレンドリス大学図書館職員から約 20 件の質問があった。我々は地域連携について熱心に議論し意見交換を行ったので、プレゼンテーションはとても意義があった。

II 成果

今回の研修は、日常の仕事では味わうことができない大きな達成感を感じた研修だった。具体的な成果は次のとおりである。

- a. 研修中の日常会話や議論によって異文化交流を十分楽しむことができた。
- b. 研修中に 2 週間英語だけの生活をしたので、英語によるコミュニケーション能力は向上した。
英語の能力を維持するために、今後も、英会話の勉強を日常的に続ける決心をした。
- c. 私にとって一番大きな負担だった英語のプレゼンテーションはとても貴重な経験だった。
- d. 海外研修によって私の視野が広がり、国際性が高まった。
- e. 今回の海外研修の貴重な経験を展示、広報、フレンドリー利用などの仕事に活用したい。
- f. 海外研修報告会などの開催、図書館報などへの記事執筆

III 謝辞

今回の素晴らしい研修の機会を与えてくださった **Flinders University** と同様に **INU 事務局** に心よりお礼申し上げます。英会話に不安があった私を親切に助けてくださり、とても快適な研修環境を与えてくださった **Flinders University Library** のすべての職員にとっても感謝しています。研修準備でサポートしてくれた広島大学国際部にもとても感謝しています。